

学科名	生物環境化学科						
科目名	ゼネラル英語I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	3年次前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化を知り、世界に発信できることができる力をつける。</li> <li>・リスニング力をあげる。</li> <li>・スピーキング力をあげる。</li> <li>・語彙の増強</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：4/10 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価について</p> <p>第2回：4/17 Unit 1 おもてなしの心</p> <p>第3回：4/24 Unit 1 おもてなしの心 / Unit 2 東京スカイツリー</p> <p>第4回：5/1 Unit 2 東京スカイツリー / Unit 3 日本の風物詩ー着物の魅力</p> <p>第5回：5/8 Unit 3 日本の風物詩ー着物の魅力</p> <p>第6回：5/15 Unit 4 高品質の日本テクノロジー</p> <p>第7回：5/22 Unit 4 高品質の日本テクノロジー</p> <p>第8回：5/29 Unit 5 健康にいい、色鮮やかな日本食</p> <p>第9回：6/5 中間テスト</p> <p>第10回：6/12 中間テスト解説、Unit 6 創造と破壊ー日本舞台芸術</p> <p>第11回：6/19 Unit 6 創造と破壊ー日本舞台芸術</p> <p>第12回：6/26 Unit 7 平和とおもてなしの日本ロボット</p> <p>第13回：7/3 Unit 7 平和とおもてなしの日本ロボット</p> <p>第14回：7/10 Review</p> <p>第15回：7/17 定期試験</p> <p>第16回：7/24 学力習熟度達成演習</p>						
成績評価基準	定期試験	30%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション	20%			
	課題 演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<p>日本文化について英語を通して学んだ。</p> <p>それを発信力アップに関しては、自分なりにリサーチを行い、文書化し、発表をすることにより、スピーキング力も向上したと考える。また、友人の日本文化の案内に耳を傾けることで、聞き取りの力が付いたものと思われる。</p>						
反省点	英語での発表ということで、かなり学生間に緊張がみられた。これを取り除くことにももっと心を砕くべきであったと思う。						
来年度の計画	英語での発表を自信を持って行えるように指導していきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業を楽しんでくれたようでよかった。毎回の単語チェックテスト(日本語→英語)によって語彙も強化されたのではないかと思う。また、日本文化を英語でプレゼンすることで、少しは自信がついたのではないかと思う。						
履修登録者数	22名	定期試験 受験者数	20名	合格者数	20名	合格率	100%